

古都・歴史まちづくりを取り巻く状況

- 少子高齢化と人口減少
- 財政面の制約
- 観光面などで歴史文化資産の活用が進展
- 歴史文化資産の活用に伴い景観保全を重視する傾向

古都保存の現状

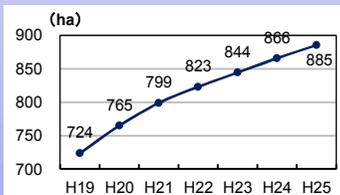
- 昭和41年法制定以来、10都市を指定
- 法制定より遙かに昔から、その価値が認められてきた歴史的風土を保存
- 国が歴史的風土保存区域の指定、歴史的風土保存計画を決定、古都指定都市において歴史的風土特別保存地区を都市計画決定し、土地の買入れ等の事業を実施
- 世界文化遺産の登録資産の緩衝地帯としても機能

歴史まちづくりの現状

- 平成20年の法制定以来、56都市の歴史的風致維持向上計画を認定
- 国策定の基本方針に基づき、市町村が計画を策定し、国(文部科学省、農林水産省、国土交通省)が認定
- 計画に基づき、各都市では関連の事業や景観形成の取組を進め、街に対する住民の愛着・まちづくりの原動力ともなる歴史的風致を維持向上

古都保存の抱える課題

- 自治体による買入れ地の経年的増加により管理水準が低下
- ナラ枯れ発生等の自然的環境の変化
- 市民団体等の保存活動の担い手の確保
- 担い手団体の活動に必要な施設が不十分
- 古都保存の価値についての理解を得ること
- 眺望景観等の保全のため、指定都市全体の景観形成



【買入れ面積の推移】
(各都市の合計値)



【倒木による家屋への被害】
(鎌倉市)



【ボランティア団体の活動状況】
(奈良市)

歴史まちづくりの抱える課題

- 歴史的建造物の空き家化や滅失
- 歴史的建造物の民間主体による保全活用の促進
- 歴史まちづくりの推進に伴う景観形成や、地域活性化に資する取組の拡大・継続
- 観光資源としての歴史文化資産を活用するための環境整備や広域的な歴史文化資産の活用方法の検討
- 認定都市の増加に伴う広域連携・ノウハウ共有、歴史まちづくりの更なる普及
- 第一期計画の適切な評価と施策の継続



【歴史的建造物の滅失状況】
(石川県金沢市)



【民間主体による歴史文化資産の活用】
(滋賀県長浜市)



【旧町名の復活】
(富山県高岡市)

【今後の方向性】

- ・ 歴史的風土の保存における民間との連携の一層の強化
- ・ 民間の資金・ノウハウの活用や歴史文化資産の適切な保全と多様な活用の促進
- ・ 古都指定都市・歴史まちづくり認定都市が全国の良好な景観形成をリード

古都保存の今後のあり方

- 自然環境の変化への対応
 - ・ 関係省庁・関係部局の連携強化による病害虫やシカによる被害対策の促進
 - ・ 斜面地の安全対策において、コストや景観に配慮した技術の導入促進
- 担い手確保
 - ・ 行政と協働して歴史的風土の保存活動を主体的に行う民間主体の位置づけ・顕彰
 - ・ 上記民間主体の円滑な活動に資する活動拠点等の施設整備を支援
 - ・ 歴史的風土の保存活動に民間企業の協働を募るための枠組みの構築
 - ・ 伐採木や収穫物等による収益を保存活動の一部に充てるなど、費用を調達する手法の検討
- 古都保存の普及啓発の推進
 - ・ 歴史的風土の価値や保存のための取組を紹介・解説する施設整備を支援
- 古都全体の統一的な景観保全
 - ・ 景観計画等の活用による歴史的風土を核とした統一的な景観ルールの策定・実施

歴史まちづくりの今後のあり方

- 民間の資金・ノウハウの一層の活用による歴史文化資産の保全・活用
 - ・ 歴史的建造物の保存・活用における民都機構によるファンドへの支援や、クラウドファンディングなどの民間資金の活用を促進
 - ・ 建築、造園など関係分野の専門家、まちづくり関連団体との連携促進
 - ・ 歴史的風致形成建造物や歴史的風致維持向上地区計画制度の活用促進
- 良好な景観形成・地域の活性化の促進
 - ・ 二期計画の認定に合わせた景観計画策定の要件化
 - ・ 屋外広告物の独自条例制定の促進
 - ・ 景観・観光面で先進的取り組みを進める地域におけるモデル的取組を支援
 - ・ 重点区域における無電柱化の促進
 - ・ 流域や街道などを中心とした市町村界にとらわれない広域的な歴史文化資産の活用方法の検討
- 歴史まちづくりの普及啓発の推進
 - ・ 歴史まちづくりサミットなどの広域連携の推進・発展
 - ・ 認定都市間のノウハウ共有、ネットワーク化の促進
- 適切な評価による施策の充実
 - ・ 第一期計画の適切な評価と第二期計画への反映